

An aerial photograph showing a village in a valley that has been severely flooded. The water is murky brown and has inundated the lower parts of the houses and surrounding fields. The surrounding hills are covered in dense green forest. The river in the foreground is also swollen and carries a heavy load of sediment.

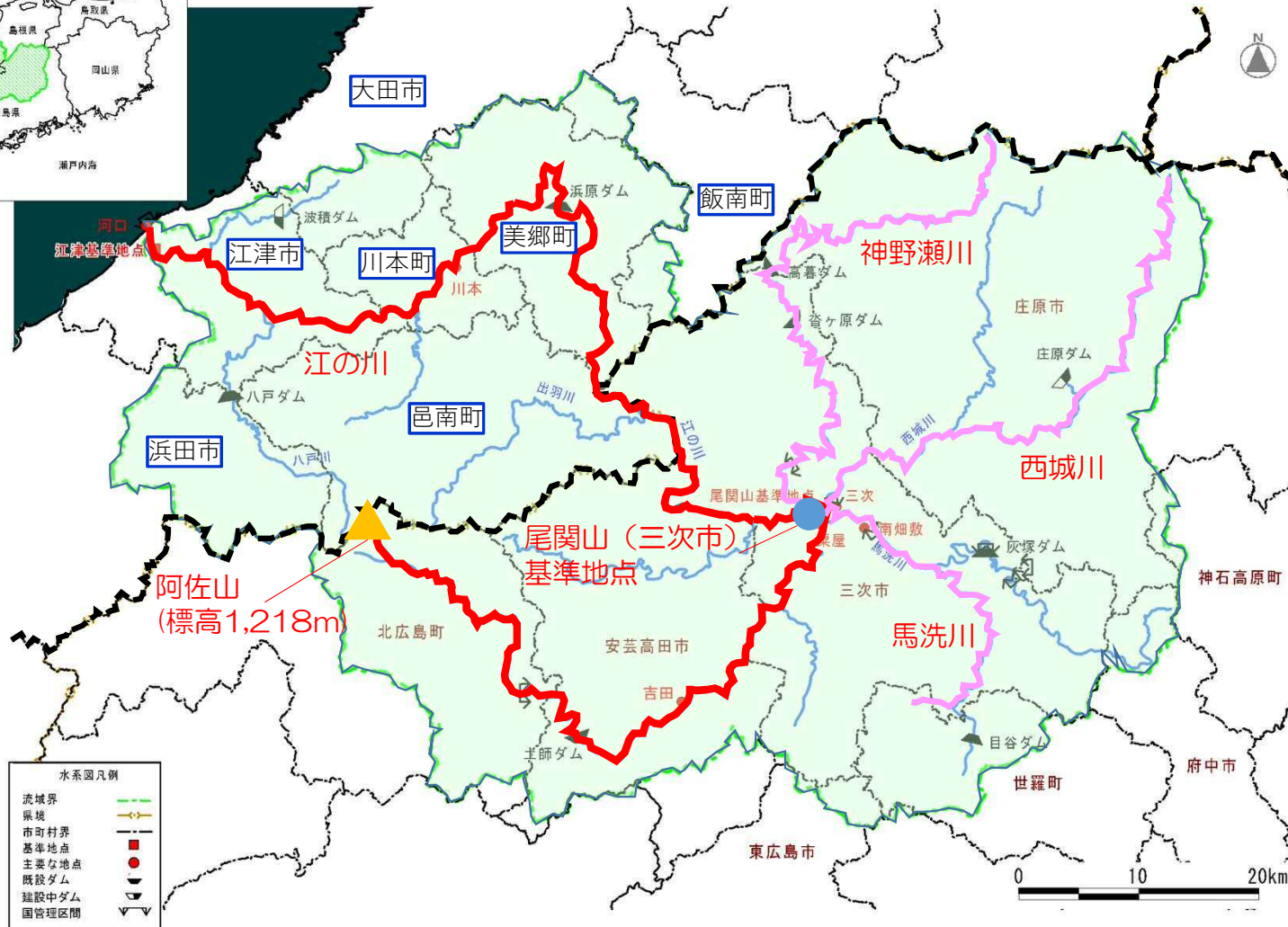
江の川水系下流支川域  
川づくり検討委員会

令和3年12月21日  
(第1回)

# 説明内容

1. 流域の概要
2. 江の川水系下流支川域の近年の出水状況
3. 江の川流域の治水事業の進め方
4. 矢谷川の治水対策
5. 波積ダム（都治川）の建設

# 江の川流域の概要



島根県

広島県

流域面積の約2/3  
が広島県側

## 【流域面積 (km<sup>2</sup>)】

島根県	広島県	計
1,260	2,640	3,900
32%	68%	100%

## 【幹線流路延長 (km)】

島根県	広島県	計
86.3	107.7	194.0
44%	56%	100%

- ・流域面積は中国地方1位 (全国16位)
- ・流路延長は中国地方1位 (全国12位)
- ・三次市で馬洗川、西城川、神野瀬川が江の川に合流

# 江の川水系下流支川域の概要



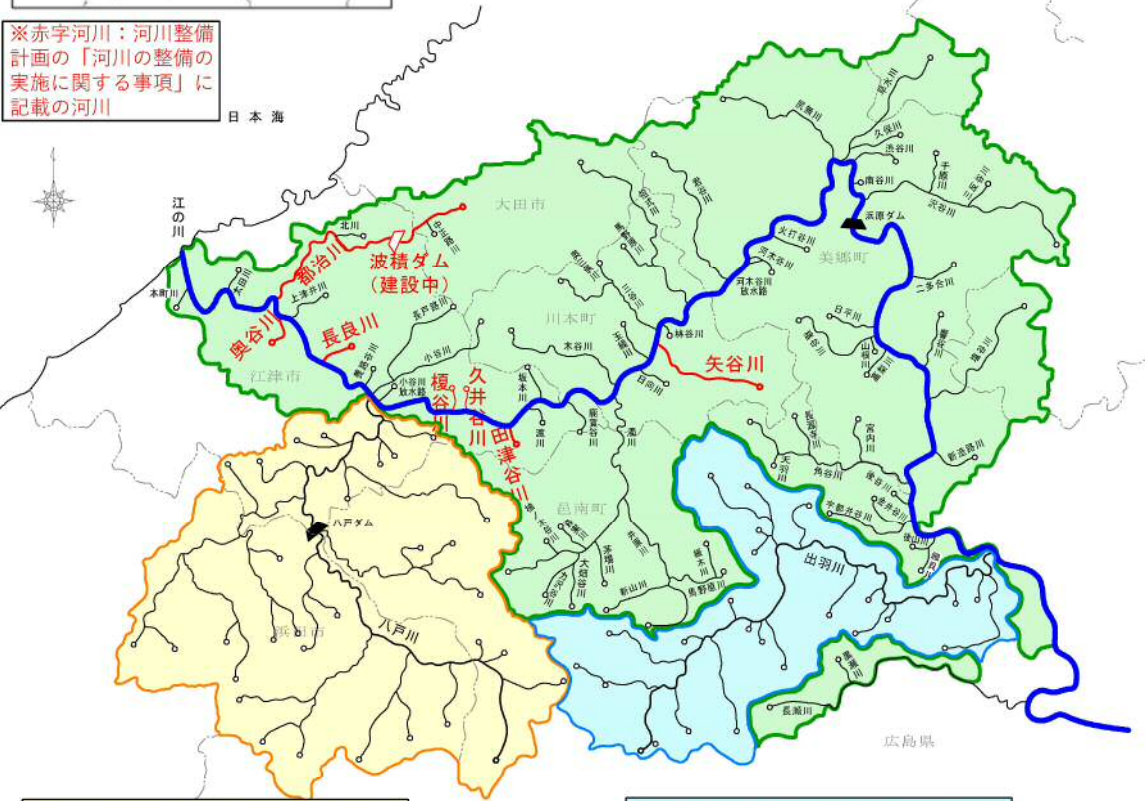
江の川水系下流支川域

流域面積:約648km<sup>2</sup>  
42流域68河川

関係市町 (2市4町)

- ・大田市
- ・川本町
- ・美郷町
- ・江津市
- ・邑南町
- ・飯南町

※赤字河川：河川整備計画の「河川の整備の実施に関する事項」に記載の河川



江の川水系 八戸川流域

江の川水系 出羽川流域

## 【自然環境】

渓谷的自然が多く残されている



断魚溪(濁川)



岩瀧寺の滝(都治川)

## 【河川の利用】

サケ・アユの放流、カヌー



サケの稚魚放流会



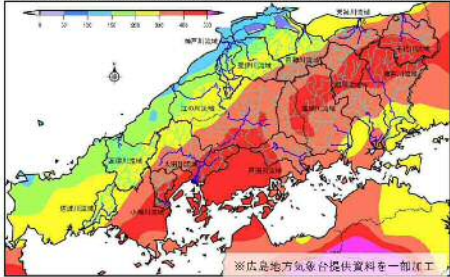
カヌーの里おち

# 説明内容

1. 流域の概要
2. 江の川水系下流支川域の近年の出水状況
3. 江の川流域の治水事業の進め方
4. 矢谷川の治水対策
5. 波積ダム（都治川）の建設

# 江の川流域 降雨状況 (H30年7月、R2年7月、R3年8月)

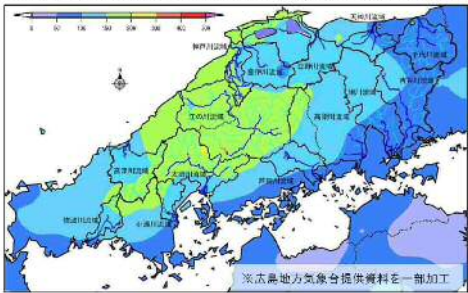
【平成30年7月豪雨】雨量分布図(アメダス) (2018/7/5 0:00~7/9 9:00)



国土交通省報道発表資料より

平成30年7月豪雨は、7月5日～7日の3日間にかけて連続的に降り続け、山陽側の多いところでは400～500mm程度の累加雨量を記録

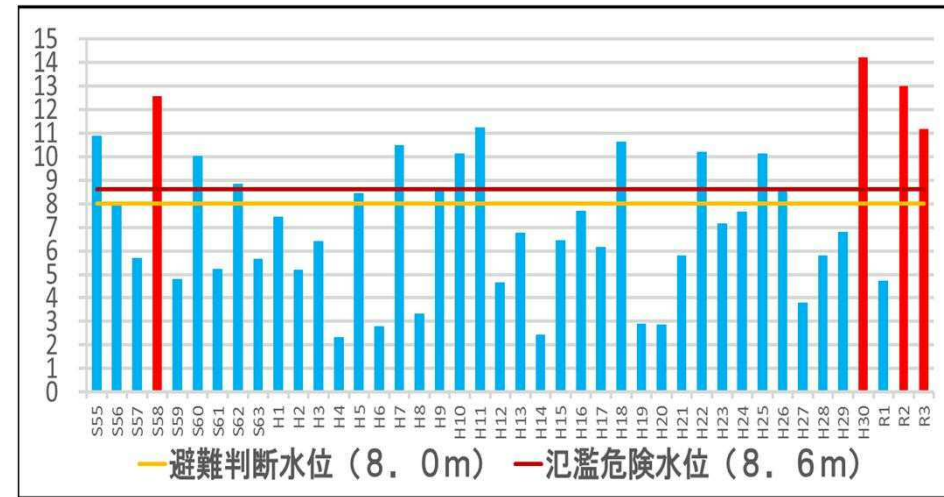
【令和2年7月豪雨】雨量分布図(アメダス) (2020/7/13 0:00~7/15 0:00)



国土交通省報道発表資料より

令和2年7月豪雨は、7月6日～14日の8日間にかけて断続的に降り続け、特に13日～14日の2日間に降雨が集中し、多いところでは200mm程度の累加雨量を記録

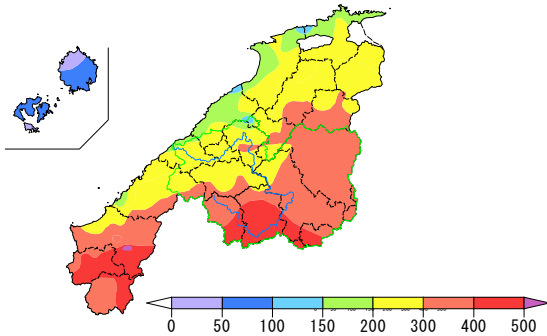
江の川 (川本水位観測所)



H30.7月豪雨:14.21m  
R02.7月豪雨:12.98m  
R03.8月大雨:11.16m

広島県側で降った雨が江の川に流れ込み、江の川本川の水位が上昇

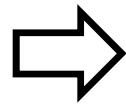
令和3年8月の大雨は、8月11日～19日にかけて断続的に降り続け、12日～14日の3日間で山陽側や島根県の山沿いで400～500mm程度の累加雨量を記録



# 平常時と出水時の河川の状況

江津市内

江津市田津地区【通常時】



江津市田津地区【令和3年8月大雨時】



美郷町内

美郷町港地区【通常時】

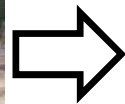


美郷町港地区【令和3年8月大雨時】



川本町内

川本町谷地区【通常時】



川本町谷地区【令和2年7月豪雨時】

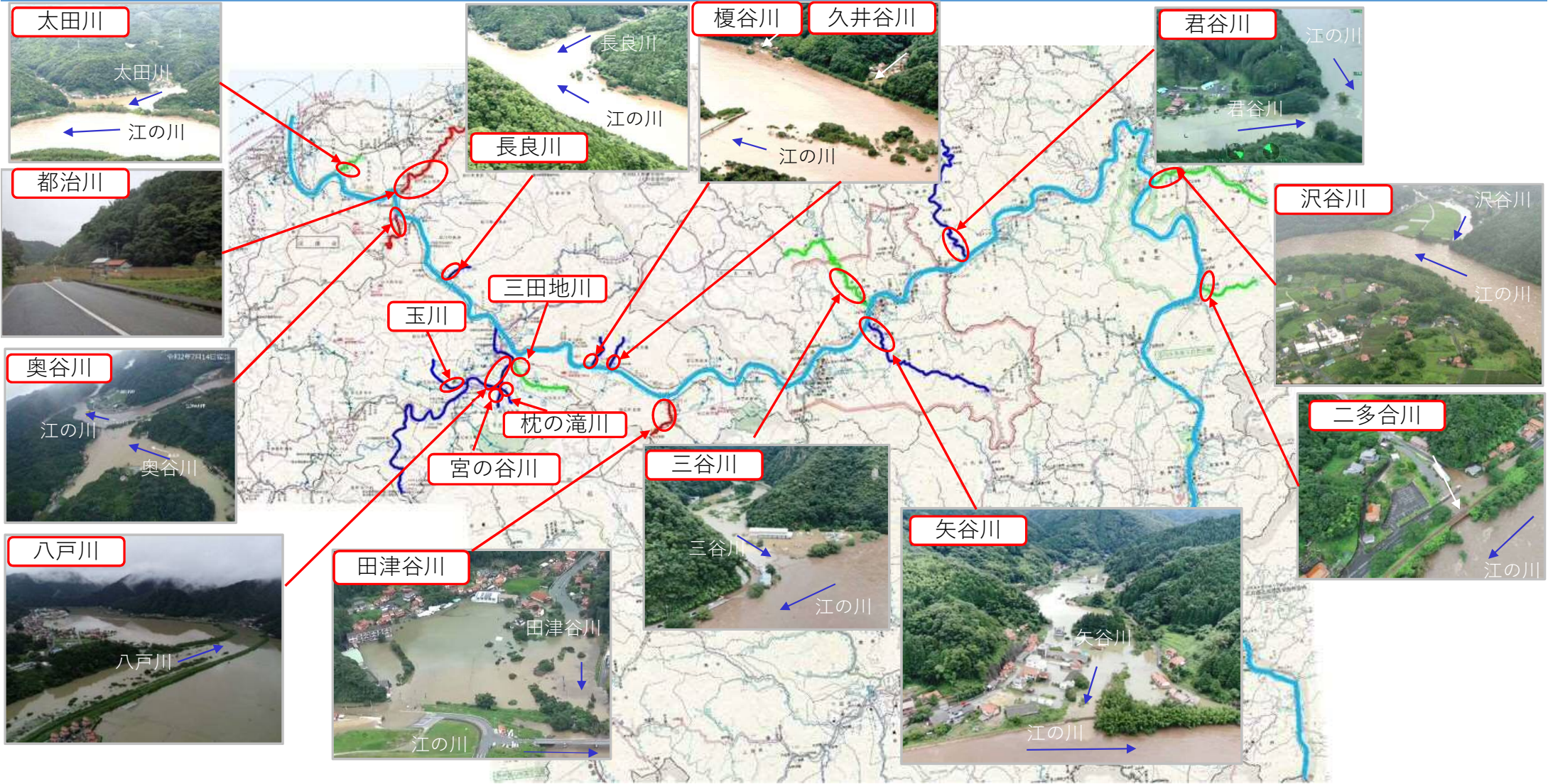


# H30年7月豪雨による浸水状況（江の川支川）

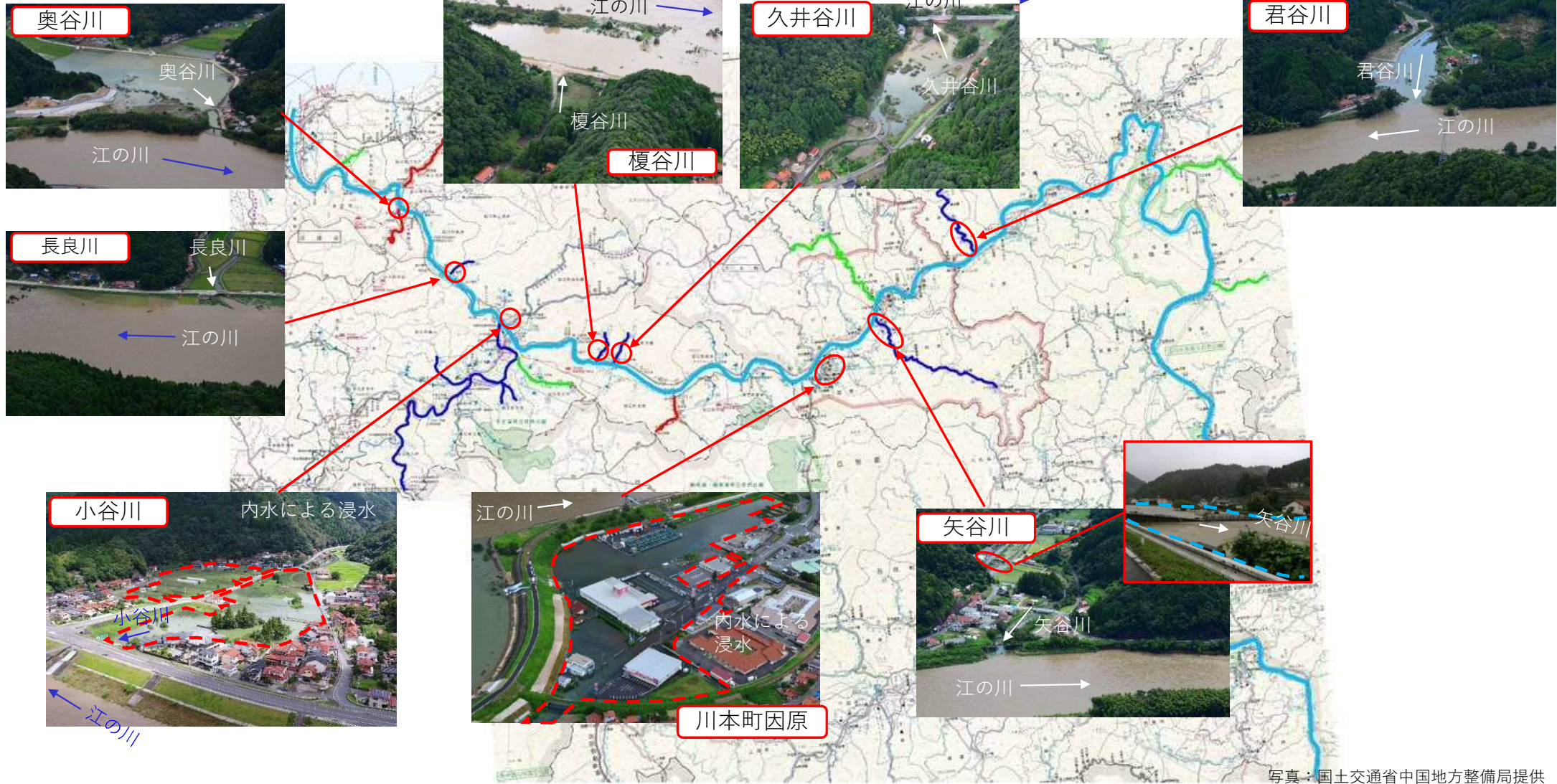




# R2年7月豪雨による浸水状況（江の川支川）



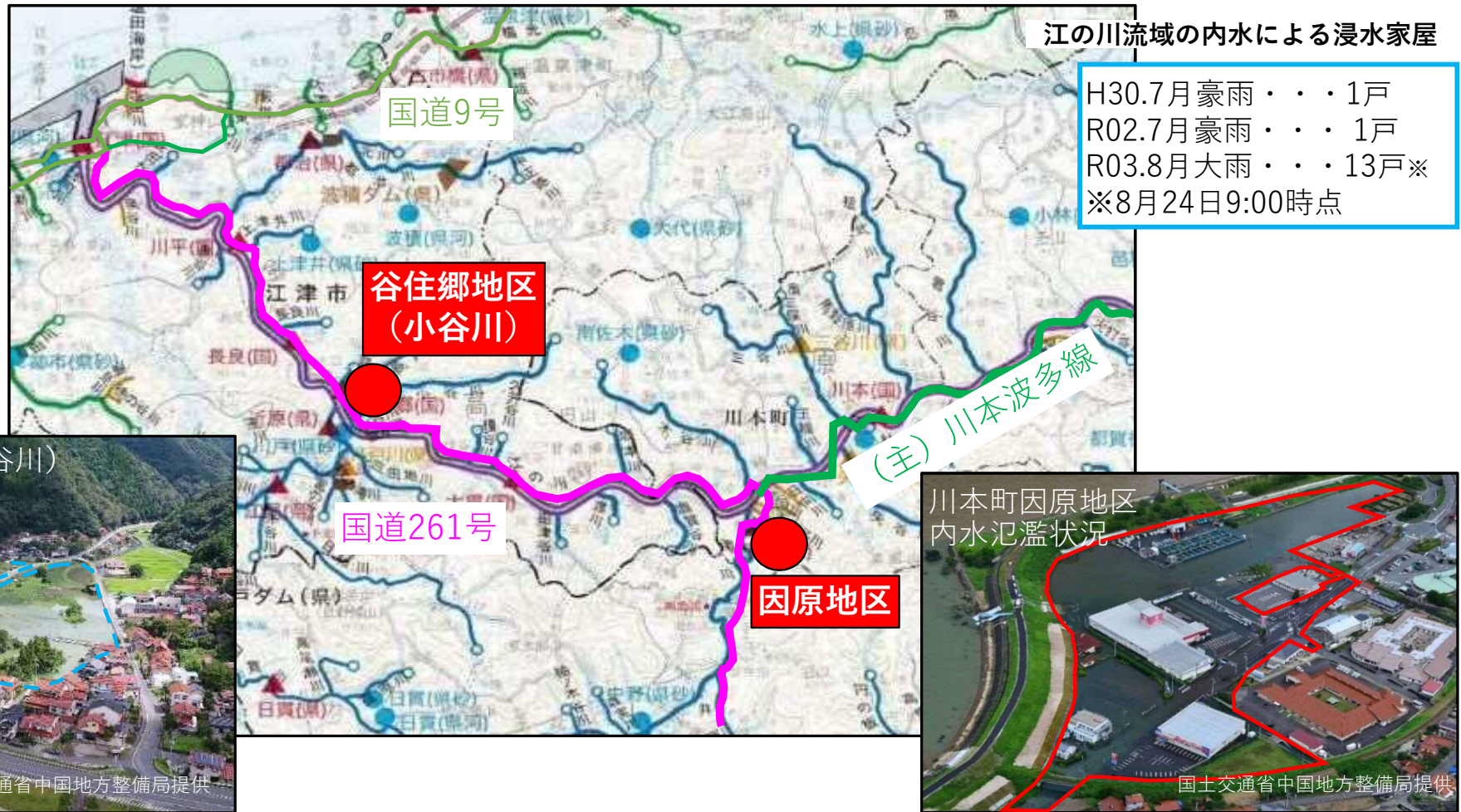
# R3年8月豪雨による浸水状況（江の川支川）



写真：国土交通省中国地方整備局提供

# R3年8月の大雨（内水氾濫）

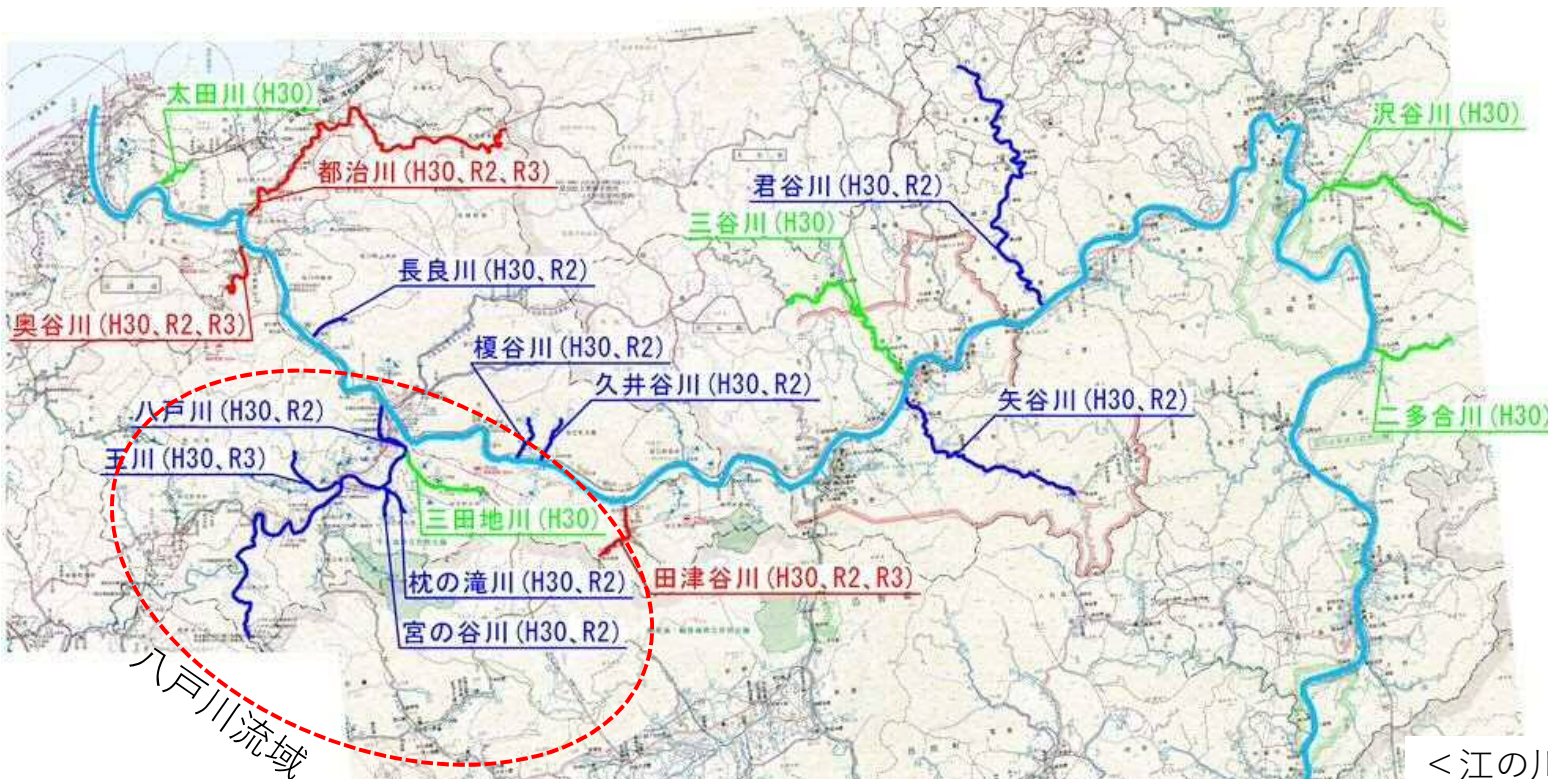
- 令和3年8月の大雨では、平成30年7月、令和2年7月豪雨より、広範囲で内水氾濫が発生し、家屋被害も発生



# 江の川支川の家屋浸水状況（H30年7月、R2年7月、R3年8月）

1 7支川で家屋浸水被害が発生

<家屋浸水被害の状況>



区分	河川名	H30.7	R2.7	R3.8
下流支川域 (12河川)	都治川	○	○	○
	奥谷川	○	○	○
	田津谷川	○	○	○
	長良川	○	○	
	榎谷川	○	○	
	久井谷川	○	○	
	矢谷川	○	○	
	君谷川	○	○	
	大田川	○		
	三谷川	○		
	沢谷川	○		
	二多合川	○		
八戸川流域 (5河川)	八戸川	○	○	
	枕の滝川	○	○	
	宮の谷川	○	○	
	玉川	○		○
	三田地川	○		

※表中の赤字河川、青文字下線：河川整備計画の「河川の整備の実施に関する事項」に記載の河川

赤文字：3度家屋浸水被害が発生（3河川）

青文字：2度家屋浸水被害が発生（9河川）

緑文字：1度家屋浸水被害が発生（5河川）

<江の川の浸水被害の状況>

洪水発生年月	浸水面積	浸水戸数
平成30年7月	約340ha	約270戸
令和2年7月	約265ha	約100戸
令和3年8月	約190ha	16戸

# 今後10年間の公共土木事業の実施方針（島根県）

- ・「今後10年間の公共土木事業の実施方針（令和2年12月に公表）」に江の川流域の対応方針などをまとめた河川事業分を令和3年3月に追加公表

## 江の川流域の対応方針（県管理河川）

○県管理支川で浸水被害があった38河川について、A～Cの3グループに分けて整理

### 【グループA】

2度の家屋浸水被害が生じた河川および事業中の河川  
(12河川)

### 【グループB】

H30.7豪雨のみで家屋浸水被害が生じた河川  
(5河川)

### 【グループC】

浸水被害は生じたが家屋浸水被害は生じなかった河川  
(21河川)

グループB・Cは、国・地元と調整しながら整備内容・スケジュール・優先度を検討し、**必要に応じて対策を実施**

※江の川本川（国）も2度家屋浸水被害が発生した地区を**優先的・重点的**に進める方針

### 【グループAの12河川】

- ①国土交通省が実施する事業により、家屋浸水が解消される見込みの河川  
5河川：奥谷川、長良川、榎谷川、久井谷川、田津谷川・・・（国と調整中の河川）
- ②防災集団移転の実施により、家屋浸水が解消される見込みの河川  
1河川：君谷川・・・（美郷町が実施）
- ③県が河川事業を実施する河川  
6河川：都治川（調整中）、八戸川、枕の滝川、宮の谷川、玉川、矢谷川

優先的・重点的に整備を進め、**概ね10年程度での完成を目指す**

赤文字河川  
河川整備計画の「河川の整備の実施に関する事項」に記載の河川  
青文字河川  
江の川水系八戸川流域内の河川

## 説明内容

1. 流域の概要
2. 江の川水系下流支川域の近年の出水状況
3. 江の川流域の治水事業の進め方
4. 矢谷川の治水対策
5. 波積ダム（都治川）の建設

# 流域治水の説明

流域治水とは・・・

気候変動による激甚化・頻発化を踏まえ、河川管理者が主体となって行う河川整備等の**事前防災対策を加速**させることに加え、**あらゆる関係者が協働して流域全体で**総合的かつ多層的に水災害対策を行うこと

流域治水：流域全体で行う総合的かつ多層的な水災害対策

## ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ 堤防整備、宅地嵩上げ等、河道掘削、ダム建設
- ・ 下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・ 砂防関係施設の整備
- ・ 森林の整備・保全、治山施設の整備
- ・ 利水ダム等の事前放流等の実施
- ・ 農業用ため池の活用を検討

等



加えて

## ■ 被害対象を減少させるための対策

- ・ 土地利用規制（災害危険区域等）
- ・ 居住誘導（立地適正化計画等）
- ・ 家屋移転（防災集団移転含む）

等

## ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ 国、県、市町、民間など多機関が連携したタイムラインの活用
- ・ マイ・タイムラインの普及
- ・ 洪水時の河川情報の充実（水位・映像等）
- ・ 被害発生時の情報収集・情報伝達の迅速化（水防団等による）

等

まず、対策の加速化

# 江の川流域における流域治水のすすめ方

- 国・県・市町の関係機関で構成する「江の川水系流域治水協議会」で「流域治水プロジェクト」を策定



**【流域治水協議会】**  
流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を目的に設立

**【流域治水プロジェクト】**  
流域全体で緊急的に実施すべき治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」として策定・公表し、流域治水を計画的に推進

令和3年3月策定



# 江の川流域における流域治水のすすめ方

- 国、県、沿川市町が連携し、まちづくりとあわせて流域治水を推進するため、令和3年4月に「江の川流域治水推進室」を設置
- 中山間地域の集落ごとに具体的な計画を策定し治水対策を加速化させるとともに、河川整備とまちづくりが一体となった『江の川中・下流域マスタープラン』を策定（令和3年度予定）し、将来世代まで住み続けられる地域を目指す

## 江の川流域治水推進室

中国地方整備局  
建政部 用地部 河川部  
浜田河川国道事務所  
三次河川国道事務所

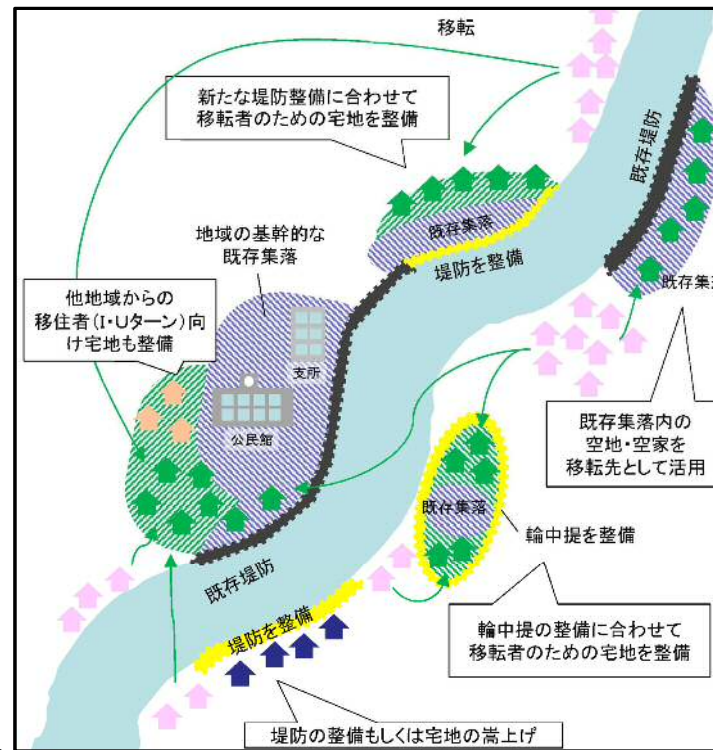
技術的  
支援

都市再生機構（UR）

島根県 広島県

江津市 三次市  
川本町 安芸高田市  
美郷町  
邑南町

## 河川整備とまちづくりを組み合わせた整備のイメージ



- 堤防の整備
- 河道の掘削
- 既存宅地の高上
- 新たな宅地の整備
- 住宅等の移転
- 拠点集落の機能整備など

**多様な手法を適材適所で  
で組合せ**

## 説明内容

1. 流域の概要
2. 江の川水系下流支川域の近年の出水状況
3. 江の川流域の治水事業の進め方
4. 矢谷川の治水対策
5. 波積ダム（都治川）の建設

# 矢谷川流域の概要



浜田橋下流



谷川橋下流



# 現在の矢谷川の状況

(湾曲部)



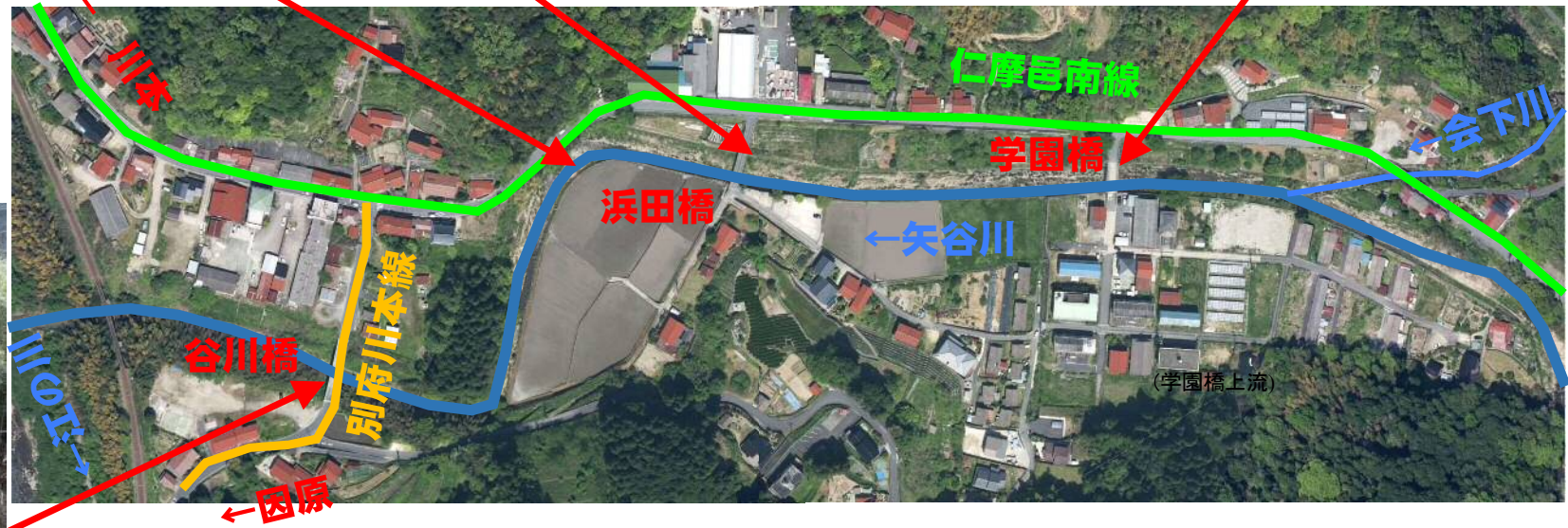
(浜田橋上流)



(学園橋上流)



(谷川橋上流)



# 矢谷川（川本町谷地区）



# 矢谷川（川本町谷地区）



# 矢谷川（川本町谷地区）



# 矢谷川（川本町谷地区）





# 矢谷川（川本町谷地区）

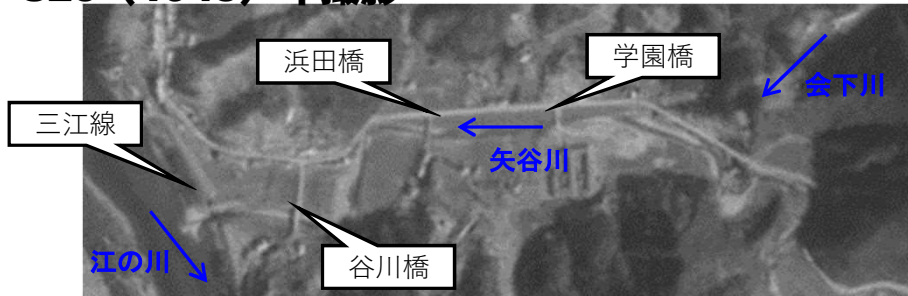


# 矢谷川（川本町谷地区）



# 矢谷川の概要

**S23 (1948) 年撮影**



**H5 (1993) 年撮影**



**S47 (1972) 年撮影**



**H25 (2013) 年撮影**



**S51 (1976) 年撮影**

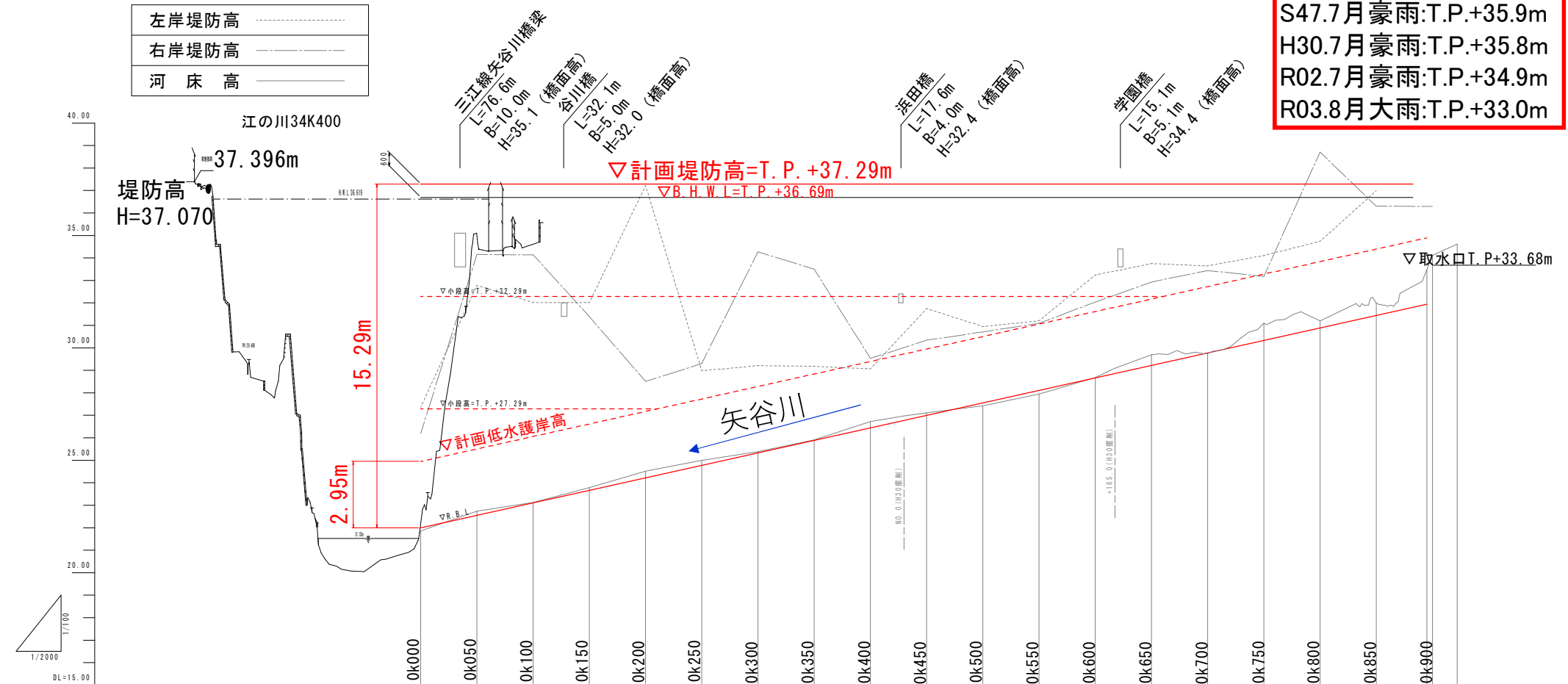


写真出典：日本地図センター空中写真

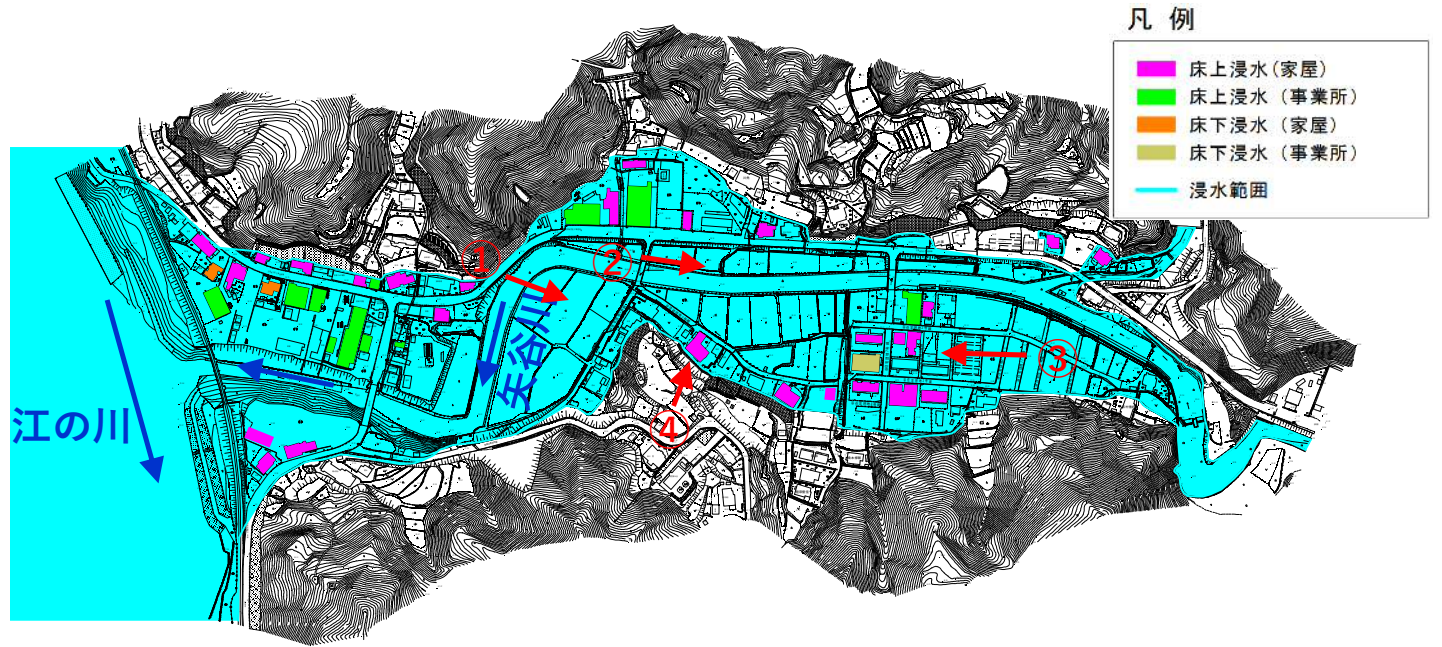
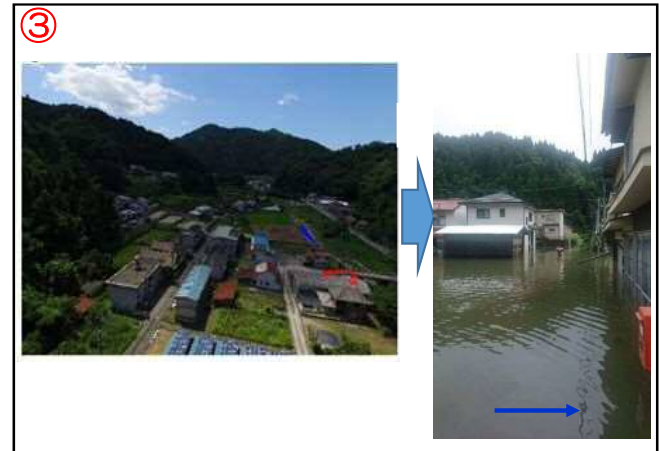
# 江の川と矢谷川の高さ関係

< 矢谷川の実績水位 >

S47.7月豪雨:T.P.+35.9m  
 H30.7月豪雨:T.P.+35.8m  
 R02.7月豪雨:T.P.+34.9m  
 R03.8月大雨:T.P.+33.0m



# H30年7月豪雨による浸水被害状況（矢谷川）

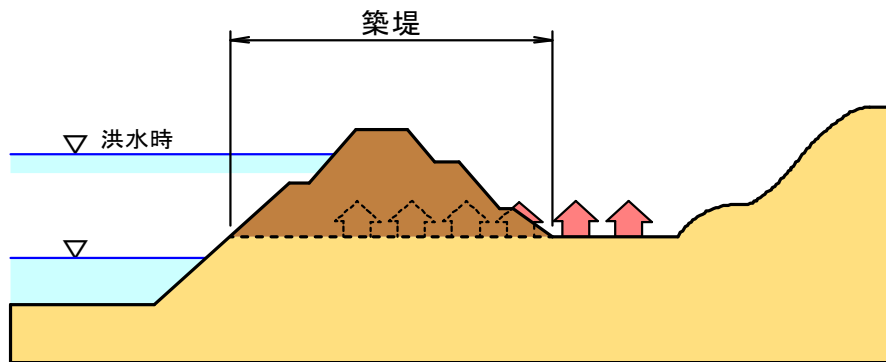
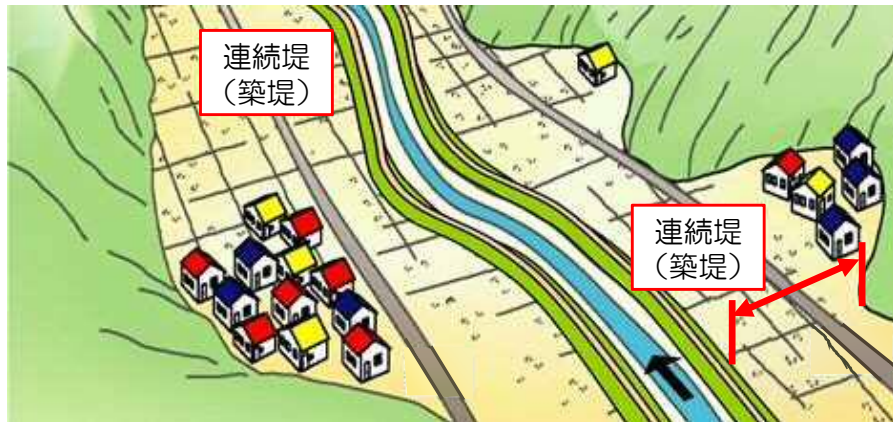


# 矢谷川の河川整備区間



# 宅地嵩上げ方式とは

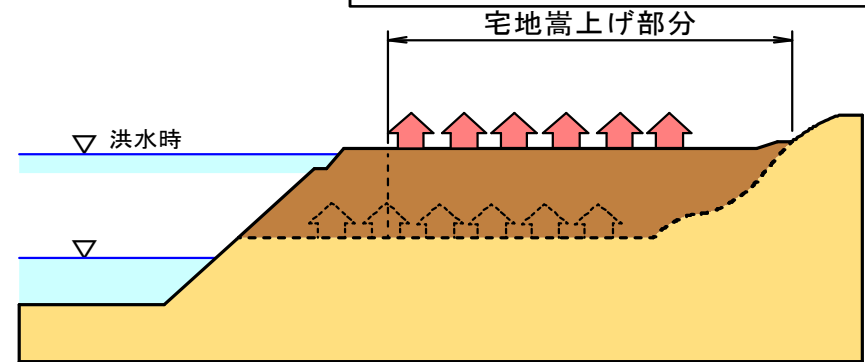
## 【通常の築堤方式】



①江の川本川からのバックウォーターによる浸水被害を防ぐためには、約5~12mの堤防が必要

そのため、**農地・宅地の多くが堤防用地**となり、集落が存続しにくくなる。

## 【宅地嵩上げ方式】

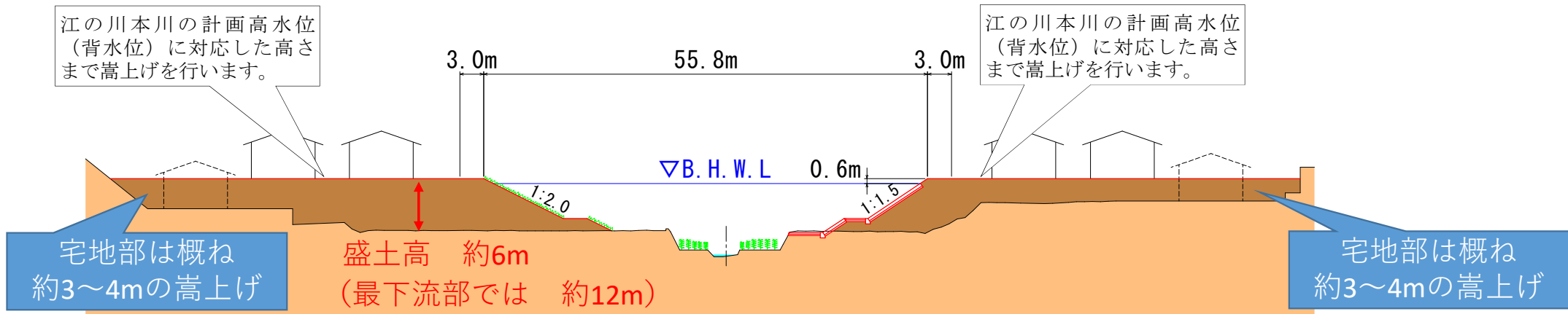


①堤防を整備する代わりに、土地を嵩上げて、土地を造成。家屋の移転は伴うが、**集落の維持**が可能

②まちづくりと一体的に整備が可能

# 矢谷川（横断図）

浜田橋より上流約40m付近



※改修におけるイメージ横断図です。



# 川本町のまちづくり計画

## 第6次川本町総合計画

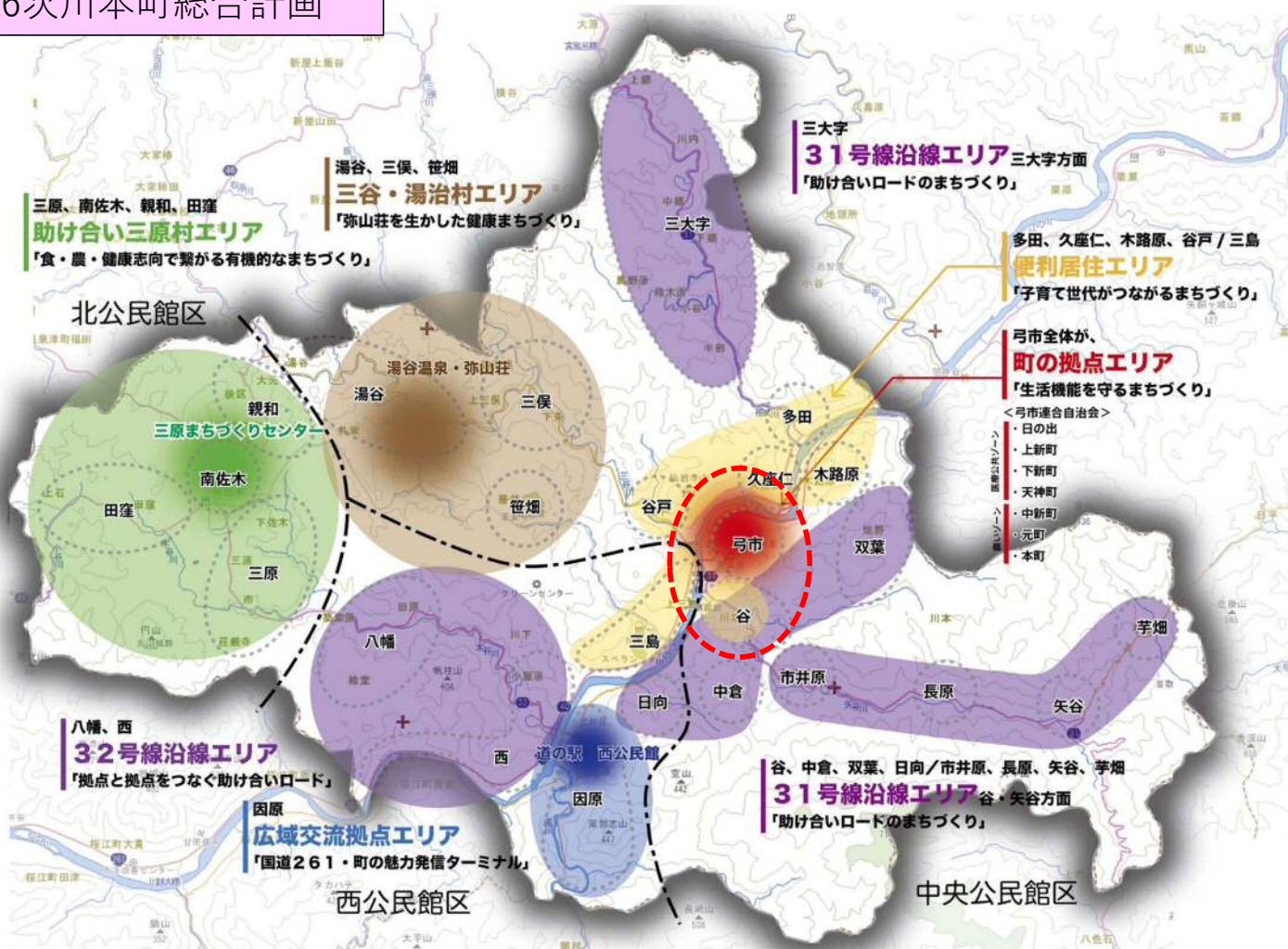
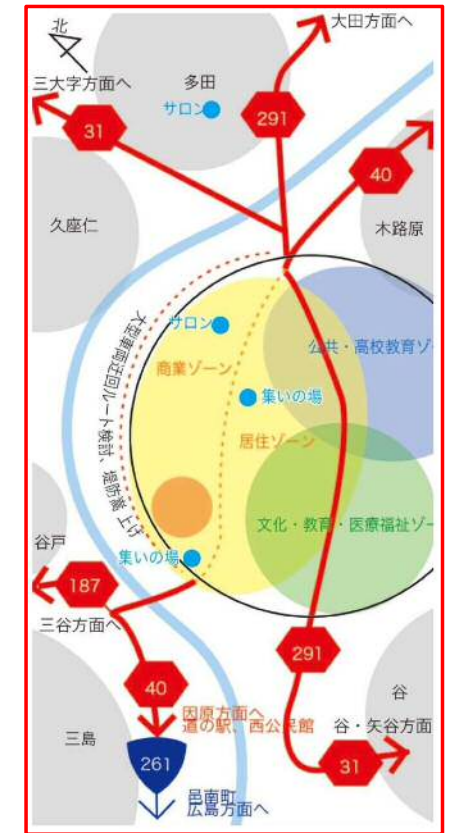


図 「地域ビジョン」の策定に向けたエリア設定

## 弓市地区周辺の拡大図



谷地区は、町の拠点エリアに隣接する便利な居住エリア

# 谷地区（矢谷川）地域住民との対話

## 谷地区 地元住民の意向確認、地元説明会開催状況等

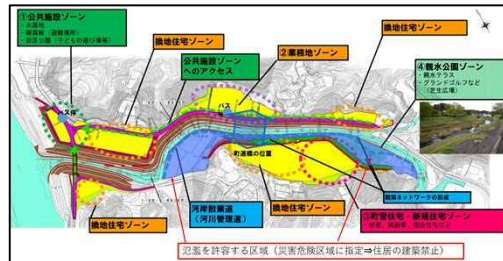
R2.9.18 住民意向調査  
(事業や居住地の意向確認)

R3.2.26 谷地区地元説明会開催  
土地利用一体型水防災事業による  
治水対策で**地元と合意**

R3.2.26 川本町谷地区 治水事業推進協議会発足  
(谷自治会の下部組織)

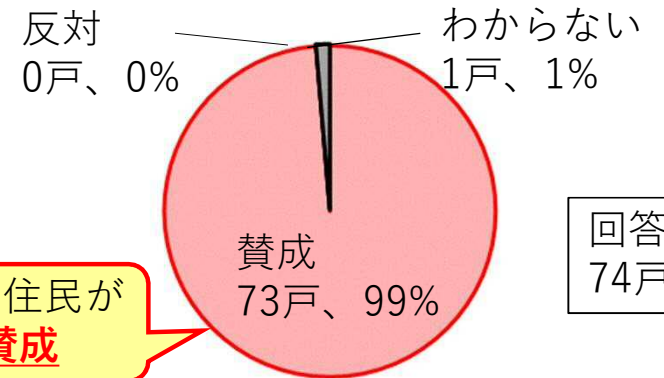
R3.7.29 谷地区地元説明会開催  
**応急対策**の説明

R3.12.9 谷地区地元説明会開催  
**谷地区まちづくり構想(案)**の説明



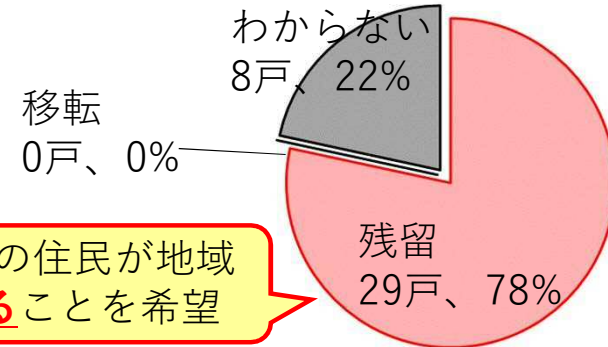
R2.9 住民意向調査(全体の回収率99%)

谷地区（矢谷川）の治水事業（谷地区全体）



ほぼ100%の住民が  
**事業に賛成**

治水対策後の居住地（事業対象区域内）



約80%の住民が地域  
に**残る**ことを希望

# 谷地区（矢谷川）地域住民との対話

## 谷地区治水事業推進協議会、地元住民からの主な意見

### 1. まちづくりに関すること

- ・ 新たな住宅建設を促進し、高齢者と若者が混在する新たなまちづくりをして欲しい
- ・ 親水公園を住空間と併設し、水に親しむ環境整備を行うことにより、清流矢谷川のせせらぎを取り入れた住宅環境づくりをして欲しい
- ・ 宅地の嵩上げによりグランドゴルフ場が失われてしまうため、左岸側の田を活用するなどによりグランドゴルフ場を整備して欲しい

### 2. 道路に関すること

- ・ 弓市から因原へのアクセスを考え、別府川本線を主流交通とした道路線形にして欲しい

### 3. スケジュールに関すること

- ・ 高齢者が多いため、事業期間が長くて将来が心配

# 谷地区まちづくり構想図（案）

R3.12.9時点の素案です。今後も地域住民の方と合意形成を図りながら進めます。

## ①公共施設ゾーン

- ・水源地
- ・朝霧館（避難場所）
- ・街区公園（子どもの遊び場等）

## 換地住宅ゾーン

## 公共施設ゾーンへのアクセス

## ②業務地ゾーン

## 換地住宅ゾーン

## ④親水公園ゾーン

- ・親水テラス
- ・グランドゴルフなど（芝生広場）

バス停

バス停

町道橋の位置

散策ネットワークの形成

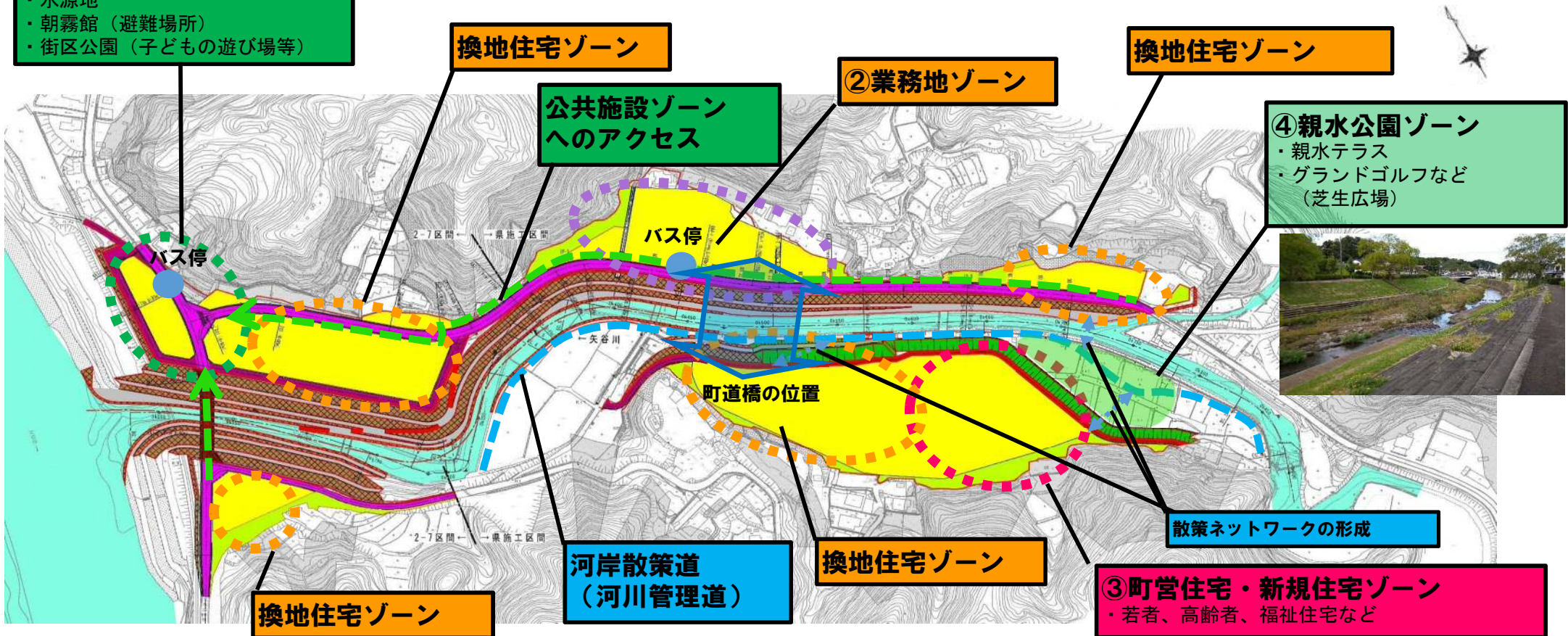
## 換地住宅ゾーン

## 河岸散策道（河川管理道）

## 換地住宅ゾーン

## ③町営住宅・新規住宅ゾーン

- ・若者、高齢者、福祉住宅など

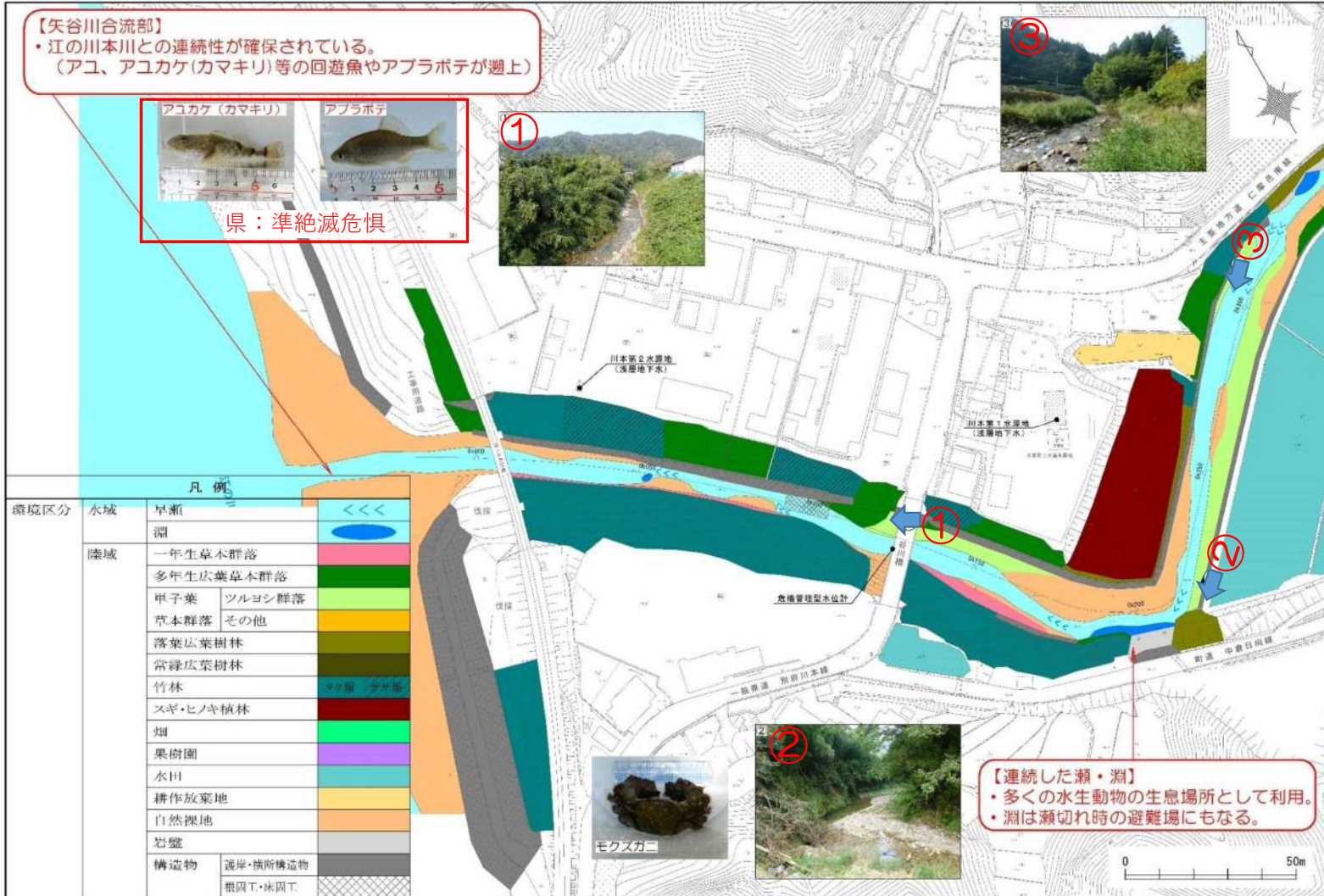


# 矢谷川（河川環境情報図）

河川環境情報図③（区間図1/3）

※貴重種記載につき取り扱い注意

②-G



## 重要な種

### 【魚介類】

- ・アユカケ、オオヨシノボリ、アブラボテ、カジカ中卵型、ミナミヌマエビ

### 【両生類】

- ・トノサマガエル、カジカガエル

### 【底生動物】

- ・ダビドサナエ属 (※)

※ヒロシマサナエは、絶滅危惧Ⅰ類であるが、調査では種の判別まで至らなかった

## 赤文字

しまねレッドデータブックに記載の種

## 黒文字

環境書レッドリストに記載の種

# 矢谷川（河川環境情報図）

河川環境情報図③（区間図2/3）

※貴重種記載につき取り扱い注意

②-G



- 重要な種
- 【魚介類】
- ・アユカケ、アブラボテ、カジカ属（※）
- 【両生類】
- ・トノサマガエル、カシカガエル
- 【昆虫】
- ・ツマグロキチョウ、キベリマメゲンゴロウ
- 【爬虫類】
- ・ニホンイシガメ

※大卵型は絶滅危惧Ⅱ類、小卵型（ウツセミカジカ）は準絶滅危惧

赤文字  
 しまねレッドデータブックに記載の種

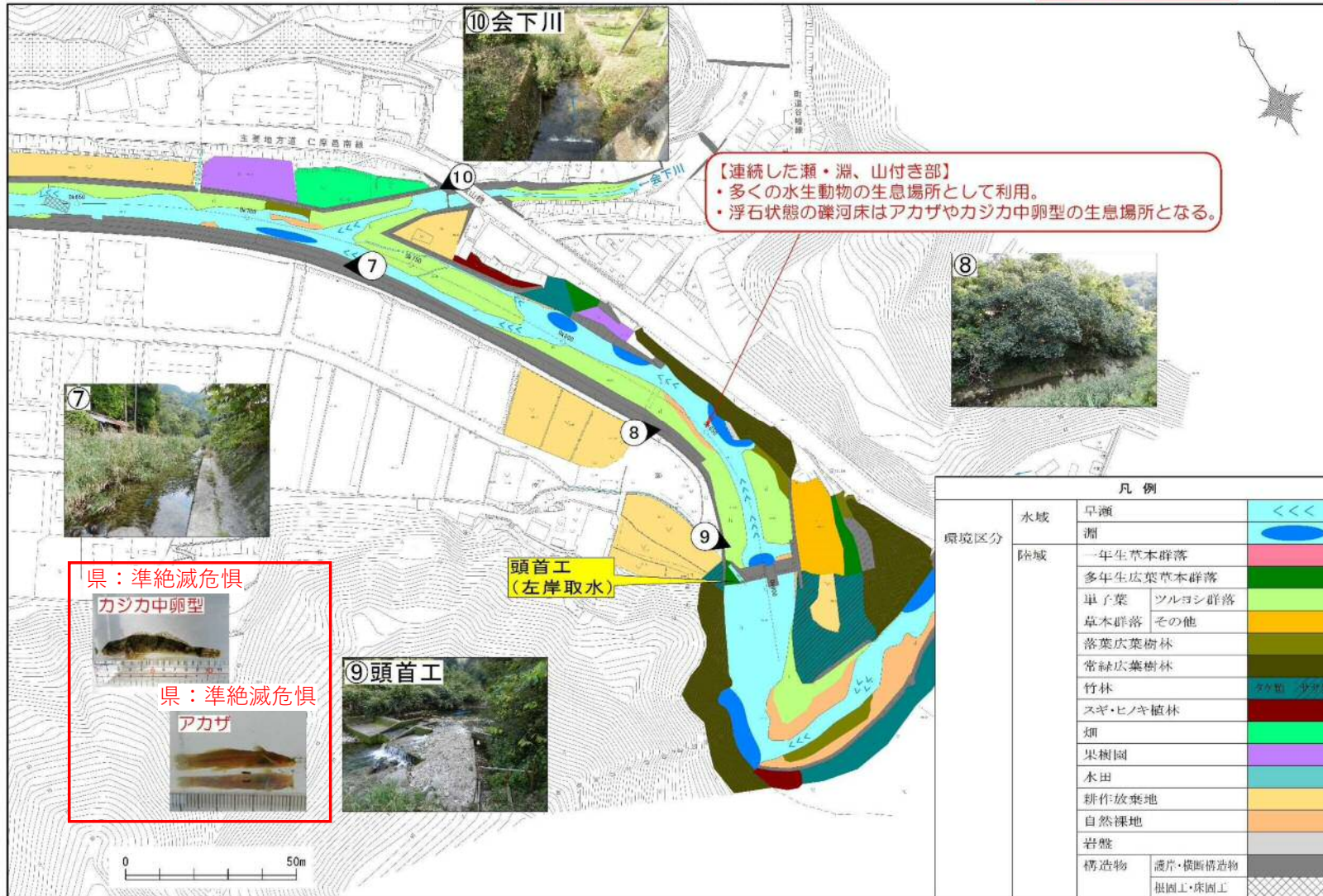
黒文字  
 環境書レッドリストに記載の種

# 矢谷川（河川環境情報図）

河川環境情報図③（区間図3/3）

※典拠種記載につき取り扱い注意

②-G



- 重要な種
- 【魚介類】
- ・ アユカケ、 アブラボテ、 アカザ、 オヤニラミ、 カジカ中卵型
- 【両生類】
- ・ トノサマガエル、 カジカガエル
- 【昆虫】
- ・ ミヤマアカネ、 オオチャバネセセリ
- 【爬虫類】
- ・ ニホンイシガメ

凡例

環境区分	水域	早瀬	淵
陸域	一年生草本群落		
	多年生広葉草本群落		
	単子葉	ツルヨシ群落	
	草本群落	その他	
	落葉広葉樹林		
	常緑広葉樹林		
	竹林		
	スギ・ヒノキ植林		
	畑		
	果樹園		
水田			
耕作放棄地			
自然裸地			
岩盤			
構造物	護岸・横断構造物		
	根固工・床固工		

赤文字  
 しまねレッドデータブックに記載の種

黒文字  
 環境書レッドリストに記載の種

# 河川環境の保全のための配慮

浜田橋下流  
(ツルヨシ群落)



多様な生物の利用を可能にするため、陸域と水域との連続性を確保する

浜田橋下流  
(早瀬)



早瀬では砂が掃流されて河床が浮き石状態。  
底生性の魚類が生息・産卵場所として利用するほか、水生昆虫や付着藻類などの多くの生物が生息・生育

会下川合流点上流  
(常緑広葉樹林)



鳥類や昆虫類の生息場、魚介類や水生昆虫類にとっては落下昆虫や落ち葉などの餌の供給源として重要

谷川橋上流  
(淵)



淵は多くの魚類の生息場や採餌場、避難場所。淵に生息する魚種の多くは瀬で産卵を行うため、淵と瀬とを一体的に保全



## 説明内容

1. 流域の概要
2. 江の川水系下流支川域の近年の出水状況
3. 江の川流域の治水事業の進め方
4. 矢谷川の治水対策
5. 波積ダム（都治川）の建設

# 波積ダムの建設（都治川）



- 【都治川の概要】**
- ・ 江の川の河口から約7.8km上流右岸側の支川
  - ・ 流域面積49.4km<sup>2</sup>
  - ・ 河川延長15.2km

# 波積ダム建設（都治川）

【波積ダム完成イメージ】

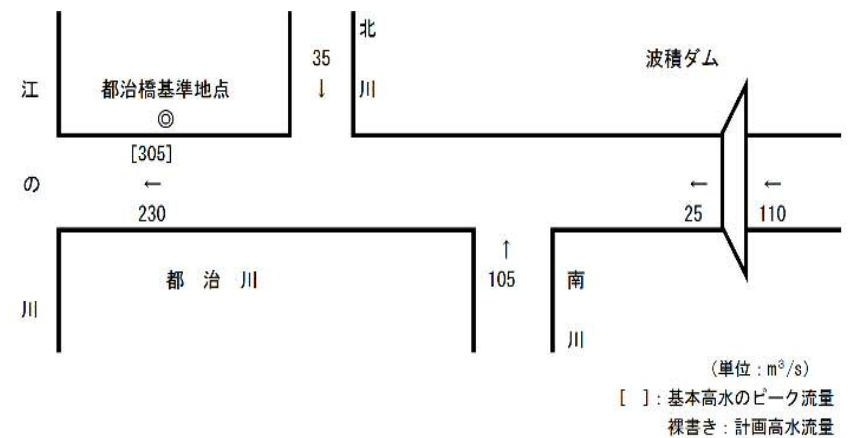


昭和47年7月降雨相当の概ね50年に1回程度発生する降雨（※）に対し、都治川沿川の家屋と農地の浸水被害を防止

※都治川流域内で235mm/日の雨が発生した場合

## 波積ダムの概要

位置	島根県江津市波積町
目的	浸水被害の防止 河川環境の保全 既得取水の安定化
型式	重力式コンクリートダム
堤高	H = 48.2m
堤頂長	L = 126.0m
堤体積	V ≒ 70,000m <sup>3</sup>
総貯水容量	3,720,000m <sup>3</sup>



# 波積ダムの建設（都治川）

